

第88回中之島メーデーアピール

1886年5月1日、アメリカ・シカゴの労働者が「8時間労働制」を要求してゼネストを闘い、「ヘイマーケットの虐殺」と呼ばれる厳しい資本と権力の弾圧を呼び起こした。この労働者の命をかけた闘いに対して、全世界の労働者が団結し連帯の闘いを呼びかけ、5月1日に全世界の労働者が結集しメーデーが始まった。

そして今日、私たちは大阪中之島公園・剣先広場に結集し、全世界の労働者の闘いに連帯すべくメーデーを開催した。

アメリカでは、トランプ大統領が誕生しオバマ政権とは違う強権的政策を打ち出し、イスラム教の7カ国を名指して、永住権を持っている人も含めてアメリカ国内に入国出来なくした。また、強いアメリカを目指し米国企業が今以上に儲かる2国間貿易交渉を強めている。一方、安倍政権は「日米軍事同盟強化」を前面に立て戦争法の制定と自衛隊の海外派兵を促進し、南スーダンでは「駆けつけ警護」任務を付与し戦闘行為に参加しようとしている。そして、沖縄辺野古の新基地建設では、県民の反対にもかかわらず2月6日から大浦湾の埋め立て工事に着手した。現地反対闘争に連帯した闘いを大阪でも支援の輪を広げよう。

国会では、過去3回も廃案になった「共謀罪」がテロ対策に名を借りて妖怪のように現れた。二人以上が話し合っただけで逮捕される治安立法化は、安倍政権の強権政治に反対する政党と労働組合、市民運動が対象にされるのは明らかだ。今国会での成立を阻止し廃案に追い込もう。

原発再稼働では、福島第1原発1～3号機でメルトダウンし、溶融した核燃料が炉内に残っていない事が判明して放射能漏れの危険性が高まっている。2015年8月に再稼働した川内原発や16年2月には高浜原発で事故が発生し緊急停止などを繰り返しているにも関わらず安倍政権は、原発再稼働を強行している。原発が無くとも送電量不足は発生していない。今すぐ全ての原発を廃炉にすべきだ。

労働者の分野では「一億総活躍社会の実現」の下で年金生活者も家庭の主婦も引きこもりの青年も皆社会に出て働き労働者不足を補完させようとしている。そして電通女性労働者の過労死などで長時間労働が社会問題化しているにもかかわらず、「働き方改革」で労働時間規制をするのではなく上限80時間、最大100時間と財界の意向をそのまま丸呑みして「過労死」を放置している。国会では、「残業代ゼロ」法案と「解雇の金銭解決」法案の審議が始まろうとしている。「規制緩和」の名により格差が広がり非正規労働者が4割を超え、年収200万円以下の労働者が1200万人に達し、消費が低迷している。この状態を放置して「アベノミクス」経済政策が上手くいくはずがない。

この安倍独裁反動政権にたいして、秋にも解散総選挙が予想される衆議院総選挙で与党自公政権と補完勢力を敗北に追い込み野党統一候補の当選へ奮闘すると共に、辺野古新基地建設阻止、高浜原発の再稼働反対と脱原発社会の実現、共謀罪成立阻止、戦争法廃止、改憲阻止、労働法制改悪阻止の闘いを全国の仲間と連帯して取り組み、安倍政権打倒に向けあらゆる階層に呼び掛けることを確認し、本日中之島メーデーに結集した仲間たちと、全国のメーデーに参加した仲間たちとともに闘うことを宣言する。

2017年5月1日

第88回中之島メーデー実行委員会